

授業科目名	開講 年次	開講 学期	講義 種類	単位数	担当教員名
教育原理	1	前期	講義	2	岩橋 法雄

○授業の到達目標及びテーマ

日本における教育は、すべての国民に対して「教育を受ける権利」の保障を通して「文化的生存権」を保障するため、「人格の完成」を目的として構想・展開されている。本講義では、そのための「教育の原理」に関する基礎的・基本的知識を習得して乳幼児教育に関わる資質の育成をねらいとしている。

○授業の概要

今までのものの見方や考え方を問い直してみ、教育（「子育て」）や人間という存在の本質を理論的に学ぶ。その際、社会的教育事象は決して歴史社会から切り離されたものではないので、教育の歴史から家庭と学校（幼稚園）、社会との関わりを学ぶ。

○授業計画

回数	題 目	授 業 内 容
1	課題意識の涵養と オリエンテーション	常識を考え直す (an sich から fur sichへ) 例：「狼に育てられた少女」の話の何が真実で何が虚偽か
2	教育と何か：教育の本質概念	educationの動詞educateは「引き出す」という意味で、人間の本性として備わっているものを育み、内から発展してくるのを援助として引き出すという行為が教育の本来の姿であることを理解する。
3	information seeker としての主体的存在	「あかちゃん」学の提唱・発展：発達の主として人間存在のあり方をお母さんの体内にいるときからの積極的な学習行為をビデオで理解する。
4	ことばの獲得と発達	ことばの発達の「遅れ」の側面から、ことばの獲得メカニズムを理解する
5	赤ちゃんの発達段階の特徴の理解（1）	誕生から6ヶ月までの身体的及び精神的発達の特徴
6	赤ちゃんの発達段階の特徴の理解（2）	10ヶ月をメルクマールとして1歳までの特徴と保育・教育で気をつけなければならないこと
7	幼児の発達の特徴（1）	1歳児の精神的発達と保育・教育の特徴
8	幼児の発達の特徴（2）	3歳児の協応活動の特徴と、最初の親からの旅立ち
9	教育思想の系譜の歴史的的外観(1)	ルソーの自然主義と「子どもの発見」
10	教育思想の系譜の歴史的的外観(2)	フレーベルの教育思想と幼稚園の創設、特に恩物 (Gabe) の思想的・実践的意味
11	多様な幼児教育の実践と思想	ニール、モッテツソリー、世界新教育運動
12	思考の発達の理論	ピアジェの形式的操作の意味。9歳の壁を乗り越える力の養成としての保育・幼児教育の役割

13	小1プロブレムとは何か	子どもの発達をめぐる環境と歪みの問題 幼小連携と幼稚園教諭、保育者の果たす役割
14	子どもの全体的な把握と、幼保一元化の現状と課題	schoolingからupbringの動向の意味していること 巻きスカート・ケア運動(アメリカなど) の意味を考える
15	生涯学習社会における幼児教育	教育福祉のネットワークのあり方を考える

定期試験

○テキスト

岡本夏木『幼児期—子どもは世界をどうつかむか—』、岩波新書

○参考書・参考資料等

澤口俊之『幼児教育と脳』、文春新書

「幼稚園教育要領解説」（最新版）文部科学省、フレーベル館

「保育所保育指針解説」（最新版）厚生労働省、フレーベル館

「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」（最新版）内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館

○学生に対する評価

レポートと中間模擬テスト（両方で30%）、及び定期試験（70%）で総合的に評価する